

平成17年度～平成19年度調査・研究事業

産学連携製造中核人材育成事業

【概要】

今後の東北地域のものづくりの中核となる「技術・研究開発人材」、「製造現場マネジメント人材」を地域の中で育成するため、大学院におけるものづくり教育コースの設置、大手企業の研修施設の開放、地域企業の協働研修の実施を行うこととし、そのためのカリキュラム・テキスト、実習機器等の開発を行うものである。

【対象市町村、モデル地域等】

北上川流域および山形・米沢地域

【調査年度】

平成17年度～平成19年度

【提案・要請者】

【提言内容・その後の活動等】

岩手大学においては、平成17年度に、大学院「金型・鑄造工学専攻」を設置するための1年次用のカリキュラムの開発を行った。これに基づき平成18年4月から「大学院工学研究科金型・鑄造工学専攻」が開設され、金型コース8名（うち社会人3名）、鑄造コース8名（うち社会人3名）が入学した。平成18年度は新たに第2年次用のプログラム開発を行った。

アルプス電気においては、平成17年度に、地域中小企業への技能研修所開放を狙いとした「金型製造プロセス概要課程」のプログラムを開発したことから、平成18年度は、このプログラムを用いた研修を平成19年1月に開講したほか、新たに「プレス金型設計概要」のプログラム開発を行った。

米沢商工会議所においては、平成17年度に、「戦略的生産革新コース」のプログラムを山形大学・地域企業の協力のもとに開発したことから、平成18年度はこのプログラムをもとにこの研修コースを10月以降実施している。平成18年度は新たに「高密度実装技術演習」等のプログラム開発を行った。

【成果品】

報告書

【調査体制】

当センターがプロジェクト管理法人となり、岩手大学や米沢商工会議所、アルプス電気などと協力しながら当事業全体を管理・運営。

【委員長・座長】

平塚 武文（財）東北産業活性化センター コーディネーター

【事務局】(IVICT は除く)

【調査協力機関】

国立大学法人岩手大学、米沢商工会議所、アルプス電気株式会社

【視察先・ヒアリング先など】

【委員等】(分科会等は除く)

木村 富雄 (財)東北産業活性化センター 常務理事・事務局長

亀田 英一郎 岩手大学附属金型技術研究センター客員教授

佐々木 哲夫 岩手大学附属金型技術研究センター客員教授

多田 尚 水沢市鑄物技術交流センター所長

竹本 義明 TCT鑄造技術研究所所長

小笠原 慶 元エヌワイデータ株式会社社長

赤尾 洋二 山形大学客員教授

【区分】

産学連携製造中核人材育成事業